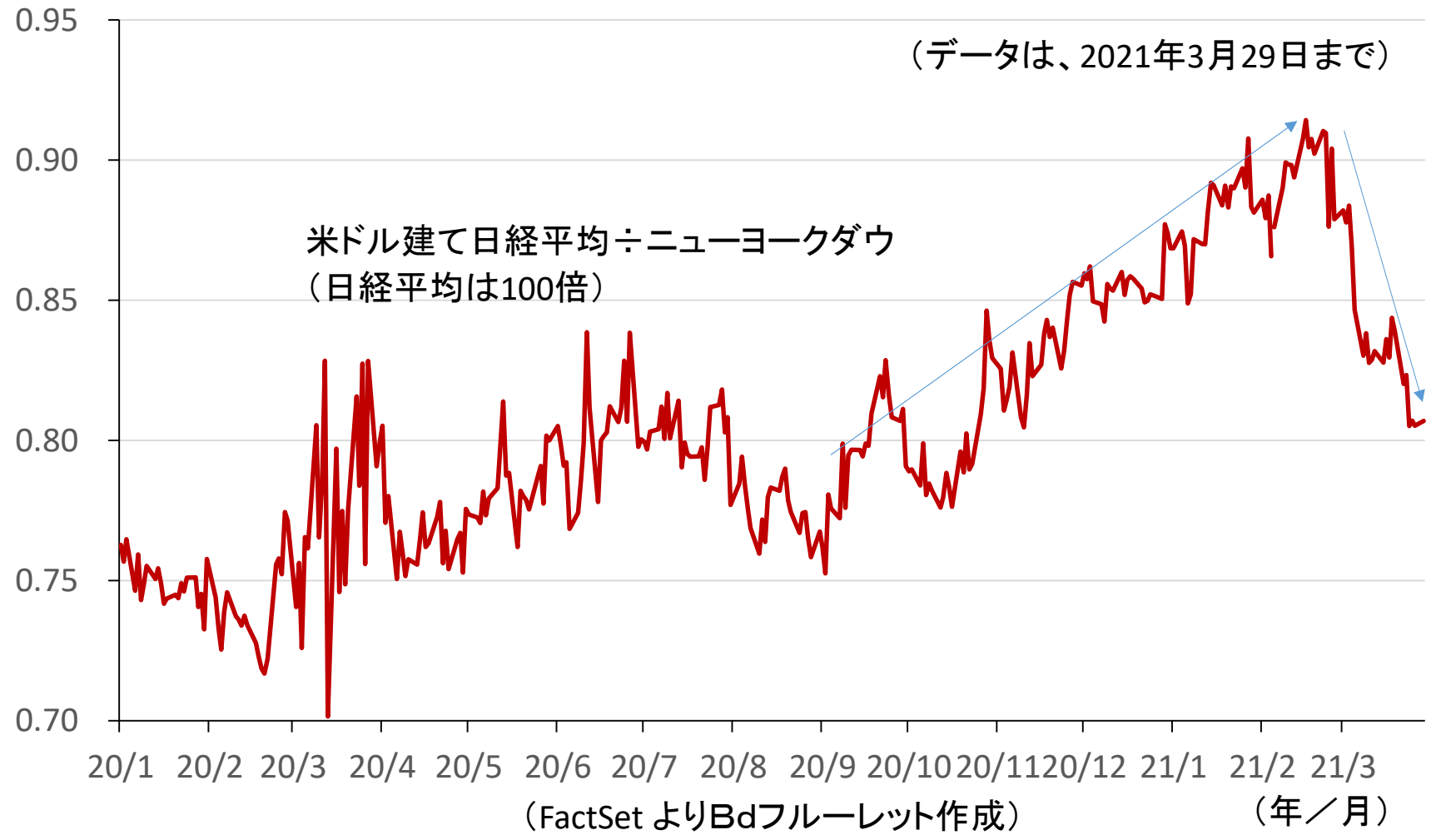
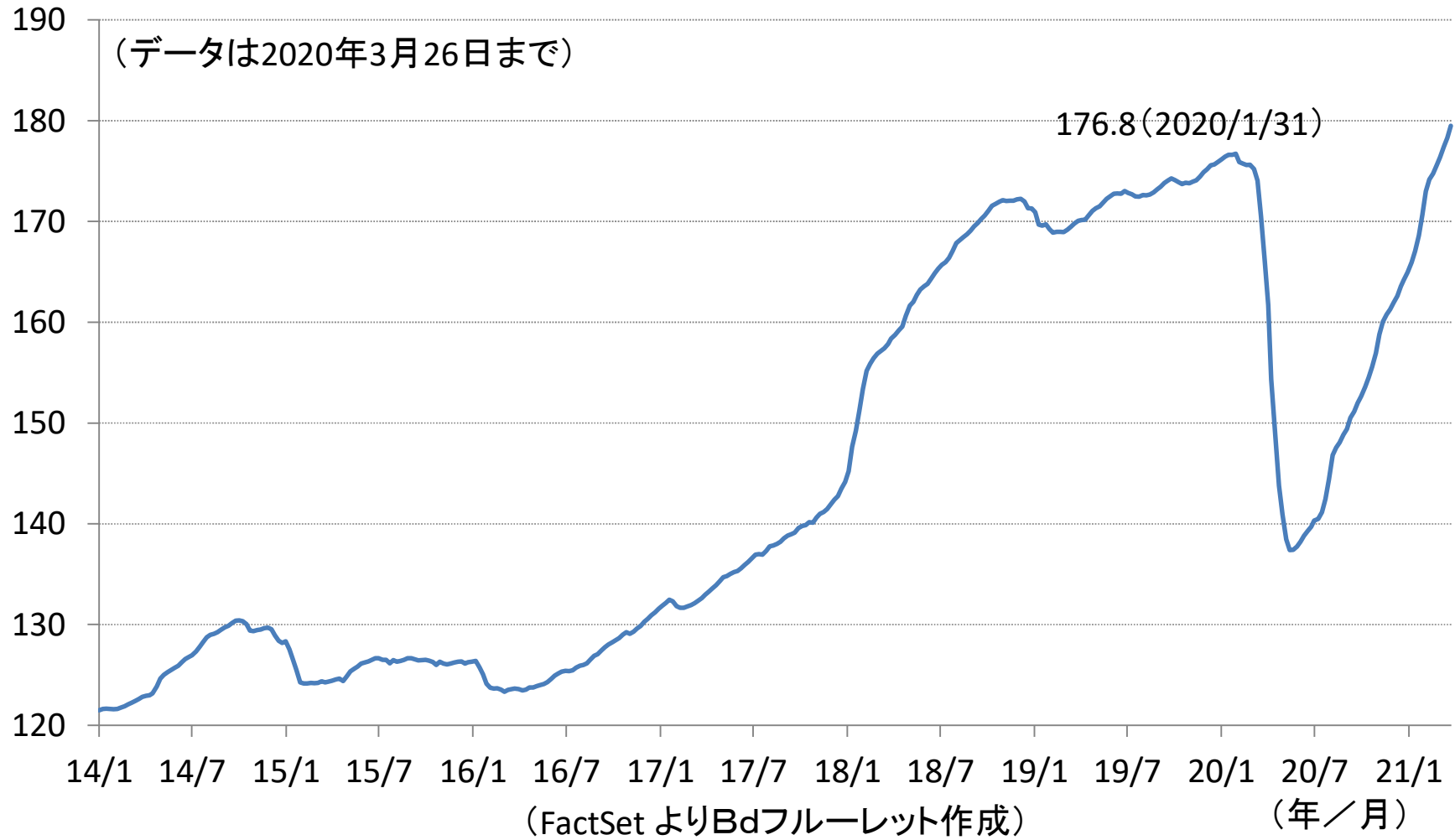


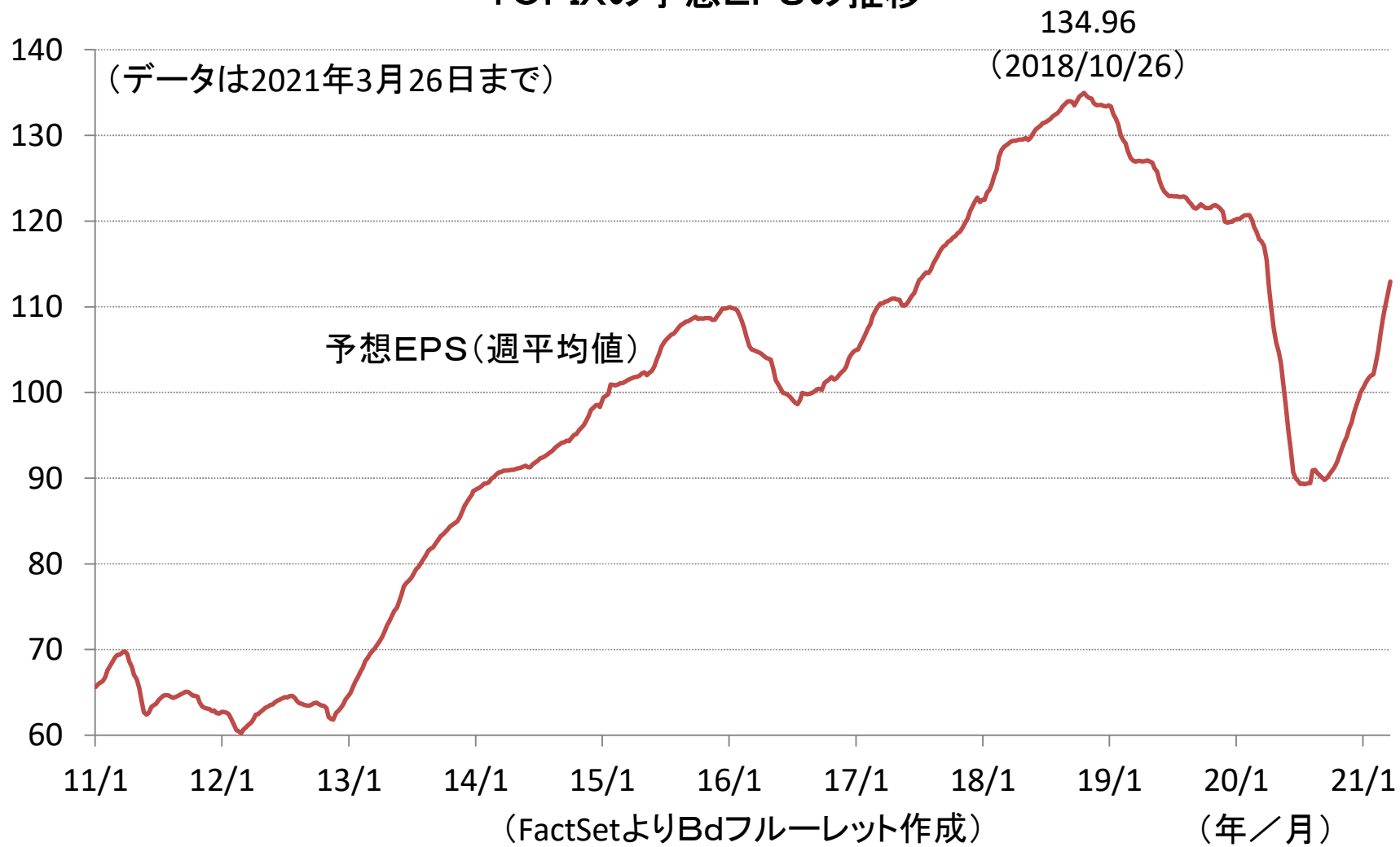
(倍) 2020年に入ってからの日経平均÷ニューヨークダウ工業株指数比率



S&P500指数の予想EPS(週平均、12か月先予想ベース)



TOPIXの予想EPSの推移



1) 米政府の積極さ

1.9 兆ドルの経済対策が今月議会を可決し、始動していることに加え、3兆ドル規模の対策も打ち出すとの観測。

規模も大きいですが、前者は補助金等の止血策、後者は環境関連投資（グリーン・リカバリ）や教育・職業訓練が中心と、狙いが明確。

新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種普及も急速。

3/29(月)の記者会見で、バイデン大統領は「4/19(月)までに米国民の大人の 90%が接種を受けられる」と語った。

2) 米連銀の積極さ

現在の金融緩和を粘り強く長期続けると主張。

景況感の改善からみると、慎重すぎるように見えるが、「日本化」の回避？

SLR規制の時限的な緩和、銀行の株主還元の規制など、コロナ禍での緊急措置を、次々と解除(前者は3月末、後者は6月末)と表明、「正常化」への自信の表れか。

(4, 5ページとも、ブーケ・ド・フルーレット作成)

